

アンザン省タンチャウ町総合病院リハビリテーション医療機材整備計画 引渡し式典

2013年9月5日

2013年9月5日(木)、日本政府による対ベトナム草の根・人間の安全保障無償資金協力「アンザン省タンチャウ町総合病院リハビリテーション医療機材整備計画」(2011年度実施)の機材引渡し式典が、矢ヶ部義則・在ホーチミン日本国総領事館首席領事、アンザン省タンチャウ町総合病院ハー・ヴァン・タム院長ら出席のもと、本件申請団体であるタンチャウ町総合病院において執り行われました。

本件は108, 229米ドルの資金協力を通じ、最も優先度の高い20種類、計23台の医療機材を整備することで、リハビリテーション科における医療サービスの質が向上することを目的として実施されました。

タンチャウ町総合病院は、町の住民だけでなく、隣接している省やカンボジアからも多くの患者を受け入れており、地域住民にとって非常に重要な医療機関です。本件実施により、多くの患者がリハビリテーション治療を通じて運動機能を回復し、自立した生活を送り、社会復帰出来るようになることが期待されます。

年々、リハビリテーション治療の需要は高まっていることから、同病院は新たに病棟を建設し、リハビリテーション科の機能強化により一層力を入れていく予定です。

式典において、矢ヶ部首席領事は、「本件を通じ、地域の医療改善に貢献できたことは、非常に喜ばしいことであると思います。日越外交関係樹立40周年の日越友好年の今年に、本件を通じて整備された医療機材が日本とアンザン省、ひいては日本とベトナムの友好のシンボルとなることを祈念致します。」と述べました。これに対し、タム院長は、「日本の皆様のご支援に心から感謝申し上げます。機材の維持管理に最善を尽くし、効果を発揮できるよう患者への医療サービスに努めることを誓います。」と感謝の意を表明しました。



矢ヶ部首席領事によるスピーチ



テープカットの様子



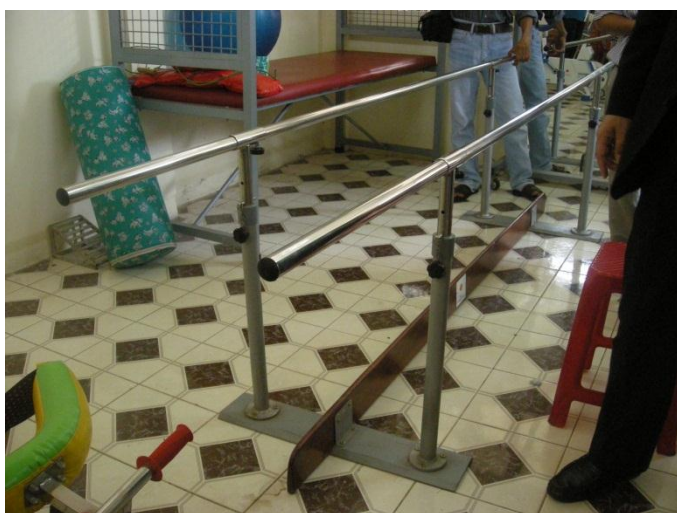
整備された高・低周波マルチ治療器



整備された干渉波治療器



整備された腰・頸椎牽引器



整備された平行棒



整備されたサドル付き歩行器



整備されたエアロバイク



整備された巧緻動作訓練器具



整備されたマイクロ波治療器



整備された高電位治療器



整備されたチルトテーブル



整備されたトレーニングベッド



整備されたオーバーヘッドフレーム